

## ブラインドサッカー（人権週間によせて）

校長 新妻 茂

2020年にパラリンピックが東京で開催されますが、その競技の中に5人制サッカー（視覚障がい）があります。ブラインドサッカーとも言われています。NPO法人日本ブラインドサッカー協会代表理事を務めているのは、釜本美佐子さんです。50代後半の人ならば、「釜本」という名を聞いてピンとくる人も多いのではないのでしょうか。そうです。1968年メキシコオリンピックのサッカーで日本が銅メダルを獲得したときのエースストライカーで、6試合で7得点をあげ得点王になった釜本邦茂選手のお姉さんです。野球に熱中していた邦茂少年に「野球じゃオリンピックに行けない」と言ってサッカーを勧めたのは美佐子姉さんだったと邦茂さんは言っています。美佐子さんは網膜色素変性症で50代から徐々に視力を失い、5年前から完全に光を失っています。ブラインドサッカーとのつきあいは15年前からで、2002年協会設立と同時に理事長を務めています。

パラリンピックでブラインドサッカーが正式種目になったのは、2004年のアテネ大会からです。日本は、アテネ、北京、ロンドン、リオデジャネイロの4回の大会では出場できませんでした。2020年の東京では地元開催ということで初出場になります。3年前の世界選手権では参加12カ国中、日本は6位で、現在の世界ランキングでは8位となっています。

ブラインドサッカーのルールはフットサルのルールをもとに作られています。5人のうちGK以外の4名が全盲、あるいは全盲に近い選手で構成されます。40m×20mのピッチで、声を出してくれるガイドがいて、ボールはシャカシャカという音が出ます。選手の条件を同じにするためにGK以外の選手はアイマスクをします。声を出せるのは選手とガイドと監督だけです。ボールを取りに行く時は、「ポイ」（スペイン語で“Voy!”「行くぞ！」という意味です。）と声をかけないと反則になります。これは選手の存在を知らせ危険な衝突を避けるためのルールです。選手はボールの音やガイド、監督の声を頼りにゲームを進めるので、観客はシーンとして観戦しなければなりません。

現在、日本国内では日本選手権に20チームほどが参加していますが、パラリンピックに向けては選手の若返りが課題となっています。日本のブラインドサッカーが強くなるためには競技の普及と選手強化、それを支える財政支援も大きな課題です。（これはブラインドサッカーばかりではなく多くの障がい者スポーツが抱えている課題でもあります。）

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、本校でも来年度、体育の授業の中でブラインドサッカーやボッチャなどのパラリンピック競技を体験してもらおうと考えています。

パラリンピックの父と言われている、L.グッドマンは「失われたものを数えるな。残っているものを最大限活かせ」と言っています。障がい者ができる可能性を見だし、自分の世界を広げてスポーツをはじめとしていろいろな活動に参加できる世の中を作っていかなければなりません。

（12月3日から9日までは「障害者週間」です。）

## 12月の主な行事予定

1日（金）三者面談～11日（月）まで	19日（火）母島中との生徒会交流会
6日（水）芝生の日	20日（水）食育 芝生の日
9日（土）学校公開 SNS 講演会（各学年ごと）	22日（金）終業式 大掃除
13日（水）避難訓練	25日（月）振替休業日（12月9日の振替）
14日（木）租税教室（3年）	26日（火）冬季休業日（始）
15日（金）いじめ対策学校サポートチーム協議会	※1月9日（火）始業式

## 学習発表会（合唱・吹奏楽）

### 音楽科

演奏者にとって、聴き手（観客）がいることが大切です。練習と本番の、一番の違いとも言えます。そこには、プロもアマチュアも関係ありません。聴いてくれる人がいることによって、緊張が伴いますが、その緊張やその雰囲気は「本番ならではの演奏」を生み出します。

今年度の全校合唱は授業時数や男女バランスの関係で、昼休みと放課後に練習時間を設定して取り組みました。本番では、音楽室のような思い切りの良い歌声が少し減ってしまい、「広い場所で歌い慣れ」することも必要だと実感しました。来年は、もう少しパート練習の回数を増やして、各パートの完成度を十分に高めて、体育館で思い切って歌えるように準備していきたいと思います。

吹奏楽は、全体的にとっても意欲的に練習できました。楽器の構え方、座る位置など、上級生が下級生に対して助言する様子も見られました。わからないことを積極的に質問に来たり、昼休みや放課後に自主的に練習したりする生徒も大勢いました。ソロの生徒は自覚と責任感が見られました。練習に向かう姿勢も立派でした。

そんな中で迎えた本番は、緊張もあったと思います。その緊張は、練習をしてきたからこそ、味わう緊張です。ハーモニーを作る、バランスを整える、音をそろえる…。どれも一人ではできない練習です。そんな一人一人の音が合わさって、50人以上で一つの曲を演奏し、会場から拍手をもらうという経験を、生徒たちはしました。「練習通りにできた」「ここを間違えたから、次はもっと練習して成功させたい」「もっと綺麗な音を出したかった」「ソロがかっこよかった」

これは本番後の生徒たちの反応の一部です。次の発表も期待したくなりますね。



## 学習発表会（3学年）

### 3年

3年生は、修学旅行で学んだことを、奈良・京都・企業訪問&上級学級訪問の3つのグループに分かれて発表しました。学習発表会に向けた総合的な学習の時間では、本番までの限られた授業時間の中で、自分たちの学習の成果や思い、感じたことを伝えられるよう、計画を立て準備しました。どのグループも、「こんな発表にしたい!」という思いがあったようで、それをうまく形にするのに苦労しながら作業を進めました。本番では、原稿を覚え観客を巻き込みながら、自分たちらしい楽しい発表ができました。当日、来場された方々からは、温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。

## 学習発表会（2学年）

### 2年

硫黄島に上陸できない、三島クルーズが硫黄島の学習の中心になる、ということがわかってから三島クルーズまで、さらにそこから学習発表会まで、例年になく短い期間での準備となりました。「この学年しかやっていない学習なんだから、この学年にしかできない発表にしよう」と、教員と生徒とで何度も確認し合い、平和について、硫黄三島について、自分たちなりに感じたことをしっかりと伝えられた発表になったと思っています。戦闘に巻き込まれた島と、手つかずの自然が残った島について、様々な角度から比較しながら考えることで、自然を守ることは平和を守ることにつながるということに気付かされました。つまり生徒たちは、「平和を守るためには、まず自分たちが生活する小笠原の戦跡や自然を守っていけば良いのだ」、という、身近で明確な目標を見つけたのです。だからこそ、体育館に響き渡るそれぞれの思いとして、声にすることができたのだと思っています。来年は修学旅行。日本の歴史、文化に視野を広げ、多くのことを学んでくると信じています。

## 学習発表会（1学年）

1年

1年生は5月に行った母島移動教室でのスローガンと同じ、「自然・団結・学んだ」というタイトルで発表を行いました。母島移動教室の事前学習から学習発表会まで、生徒一人一人が1つのテーマを探究しました。事前学習では探究レポートを作成し、母島で検証してくる検証課題を設定しました。母島移動教室では検証課題を調べたり、インタビューしたりしてきました。事後学習では、探究してきた過程をわかりやすく伝えられるようにスライドを工夫して、発表を行いました。

また、雨天つづきの母島移動教室でしたが、母島の皆さんにお世話になり、楽しい思い出がたくさんできたことを発表するため、グループで発表内容・方法を考えて母島での思い出を動画やスライドで発表しました。発表の最後には、移動教室の際、ははじま丸が出港するときにクラスで掲げたメッセージの再現を行いました。

今回の学習を通して、クラスの団結が深まるとともに、今後の探究学習の基礎となる力を身につけることができました。

## 保育実習

家庭科

11月10日（金）本校3年生が父島保育園にて、保育実習を行いました。事前の授業では幼児の特徴や発達段階、保育実習に臨むにあたって遊びのシミュレーションや、ロールプレイなどを行いました。また、幼児のおもちゃも製作し、当日持参しました。

当日は3歳、4歳、5歳児の3つのクラスに分かれて、1時間半ほど幼児と遊び、その後昼食を一緒に食べました。生徒は、この実習を通じて保育の学習を振り返り、幼児の理解を深めることができました。また、幼児と一緒に過ごす中で、自分の小さい頃を思い返したり、人とのつながりを感じたりすることができたのではないかと思います。

お世話になった父島保育園の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 避難訓練

生活指導主任

11月8日（水）に村の防災訓練に合わせて中学校でも、避難訓練を行いました。村の防災訓練の発災時刻と同時に避難を開始し、より高い津波を想定して、大神山公園まで避難しました。非常時には、いろいろな想定をして自ら動かなければならないこと、防災無線をはじめ、情報を確実に手に入れ自分がどう行動すべきか判断することなどを学びました。行きがけには、少し私語が多い状況がありましたが、普段の訓練から本番を想定して行動して行くことを心がけて欲しいと思います。



## お知らせ

○ 小笠原中学校の生徒が各方面で表彰されていますのでご紹介します。

・ 税の標語

芝間税会 入選

・ 税についての作文

芝納税貯蓄組合連合会 会長賞 入選

・ 平成29年度小笠原海上保安署「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」

優 秀 賞

佳 作

佳 作

○「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」に応募したすべての作品が写真プリントで次のとおり展示されます。

①場所 小笠原ビジターセンター旧館ホールレクチャールーム

期間 11月30日(木)～12月15日(金) 8:30～17:00

②場所 母島沖港船客待合所

期間 12月17日(日)～1月4日(木) 8:00～17:00

③場所 おがさわら丸 4デッキ テレビモニター

期間 12月21日(木)～1月7日(日)

○2年生が美術の授業で取り組んだキャラクターデザインが次のとおり展示されています。

場所 小笠原水産センター

期間 11月9日(木)～年始まで(予定)

#### ○ 工事についてのお知らせ

道路工事が実施されます。工事箇所付近には資材の搬入等のためにトラック等、自動車の行き来が多くなったり、通行止め等の交通規制が実施されたりします。登下校は気をつけてください。

・場 所 東町地内(東町二号線)[小笠原観光(有)～ちどり 付近の道路]

・工 期 12月4日から3月下旬まで